

精神障害にも対応した 地域包括ケアシステムの 構築に向けた協議会の活用 (福祉の取り組み)



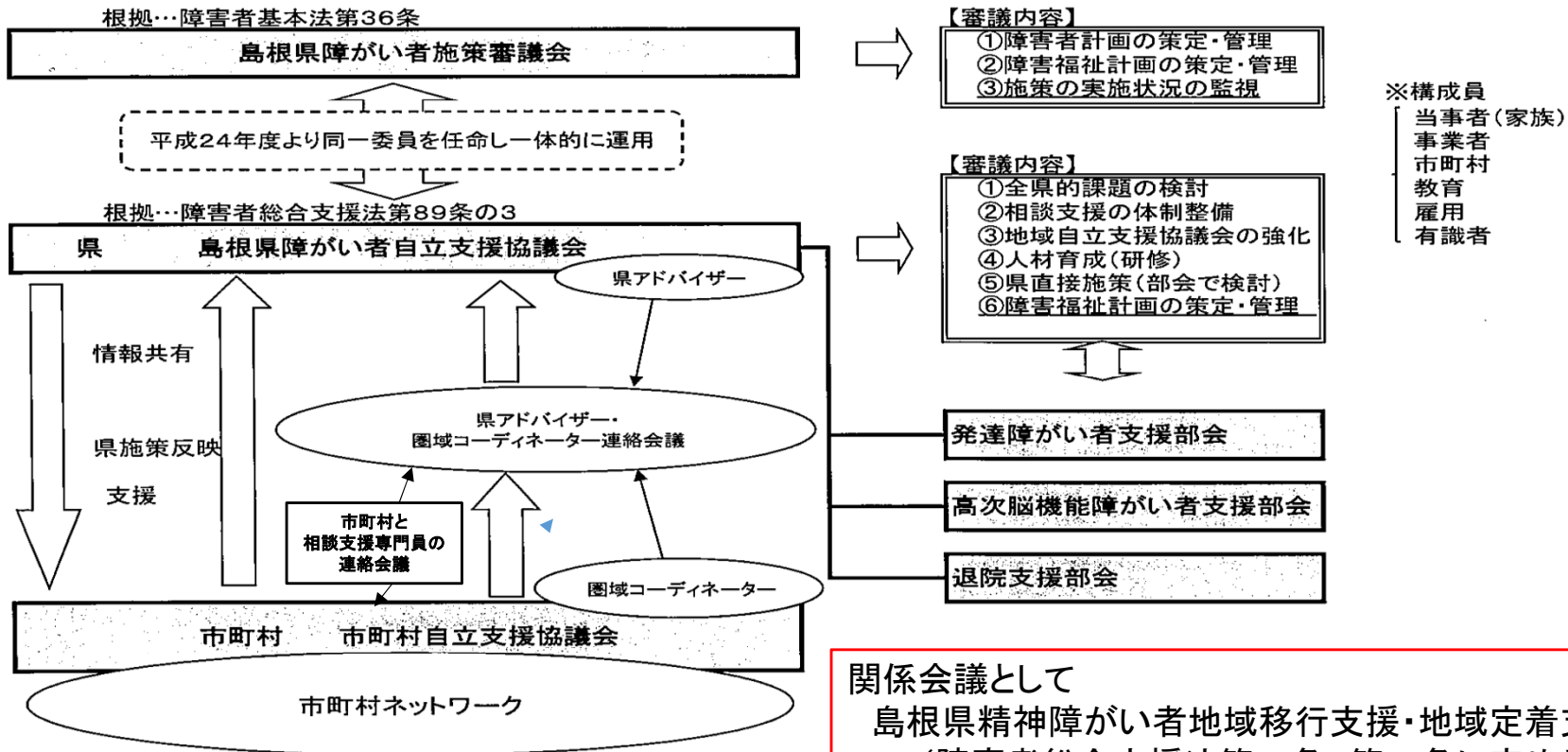
株式会社RETICE

DEO 東 美奈子

(保健師・相談支援専門員・精神科認定看護師)



島根県障がい者施策審議会 と 島根県障がい者自立支援協議会



関係会議として
 島根県精神障がい者地域移行支援・地域定着支援検討会議
 (障害者総合支援法第77条、第78条に定める都道府県が実施する「精神障害者地域生活広域調整会議」として位置づけ)
 島根県精神障がい者地域移行支援・地域定着支援圏域会議
 (県実施要綱により位置づけ)

退院支援部会委員構成

区分	所 属
学識	島根県立大学
医療	日本精神科病院協会島根県支部 県立こころの医療センター医療局 日本精神科看護協会島根県支部
福祉	島根県相談支援専門員協会 島根県精神保健福祉士会 島根県介護支援専門員協会
家族	島根県精神保健福祉会連合会
当事者	島根県精神当事者連絡会
就労関係	雲南障がい者就労・生活支援センターアーキ
社会福祉協議会	島根県社会福祉協議会 就労支援室長
行政(市町村)	松江市健康福祉部障がい者福祉課 浜田市高齢障がい課
行政(県)	島根県保健所会

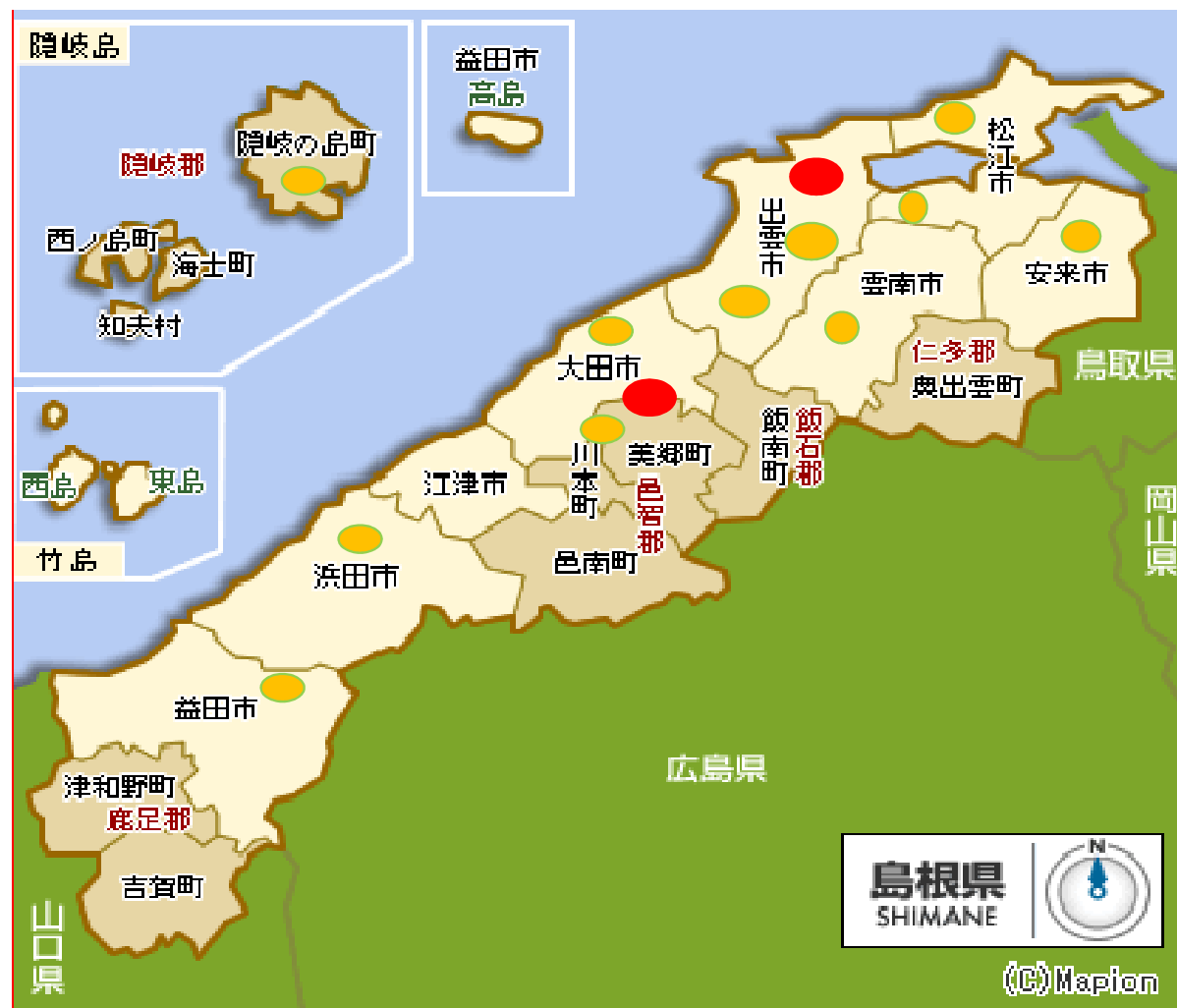
事務局
建築住宅課
障がい福祉課

オブザーバー
各保健所
心と体の相談センター

県の取り組みとして全県対象の研修をしてきた

- ・ H26年までは年1回、県主催の研修と各保健所主催での研修を実施
- ・ H27年度とH28年度は、
日本精神科看護協会島根県支部に委託事業として開催
- ・ H27年度は東部西部各1カ所ずつで研修
精神科医・臨床心理士・看護師が講師で地域移行と地域定着について
- ・ H28年度は東部西部各1カ所ずつ離島で研修
精神科病院の取り組みを中心に
離島ではニーズに合わせて認知症についての研修

県と市をつなぐ相談支援アドバイザーと圏域コーディネーターの配置

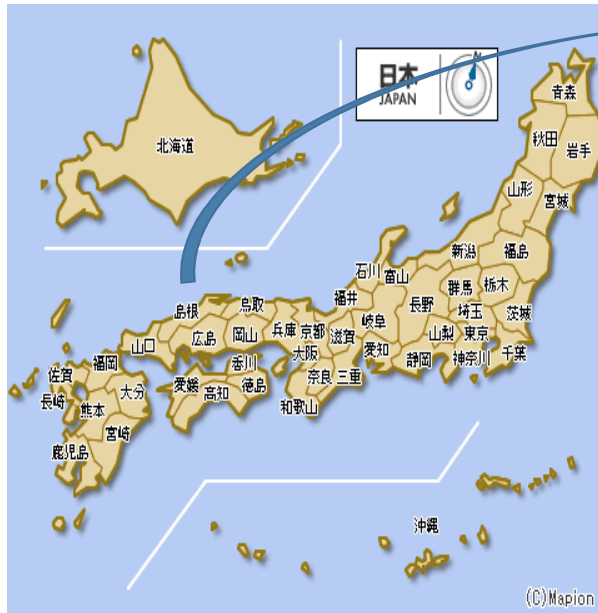


- 相談支援アドバイザー
(東部・西部でひとりずつ)
- 圏域コーディネーター
(各圏域に1名~3名
人口規模により配置)

出雲市は



出雲市
IZUMO



人口：175,030人
世帯数：63,231世帯
(H28年4月1日現在)



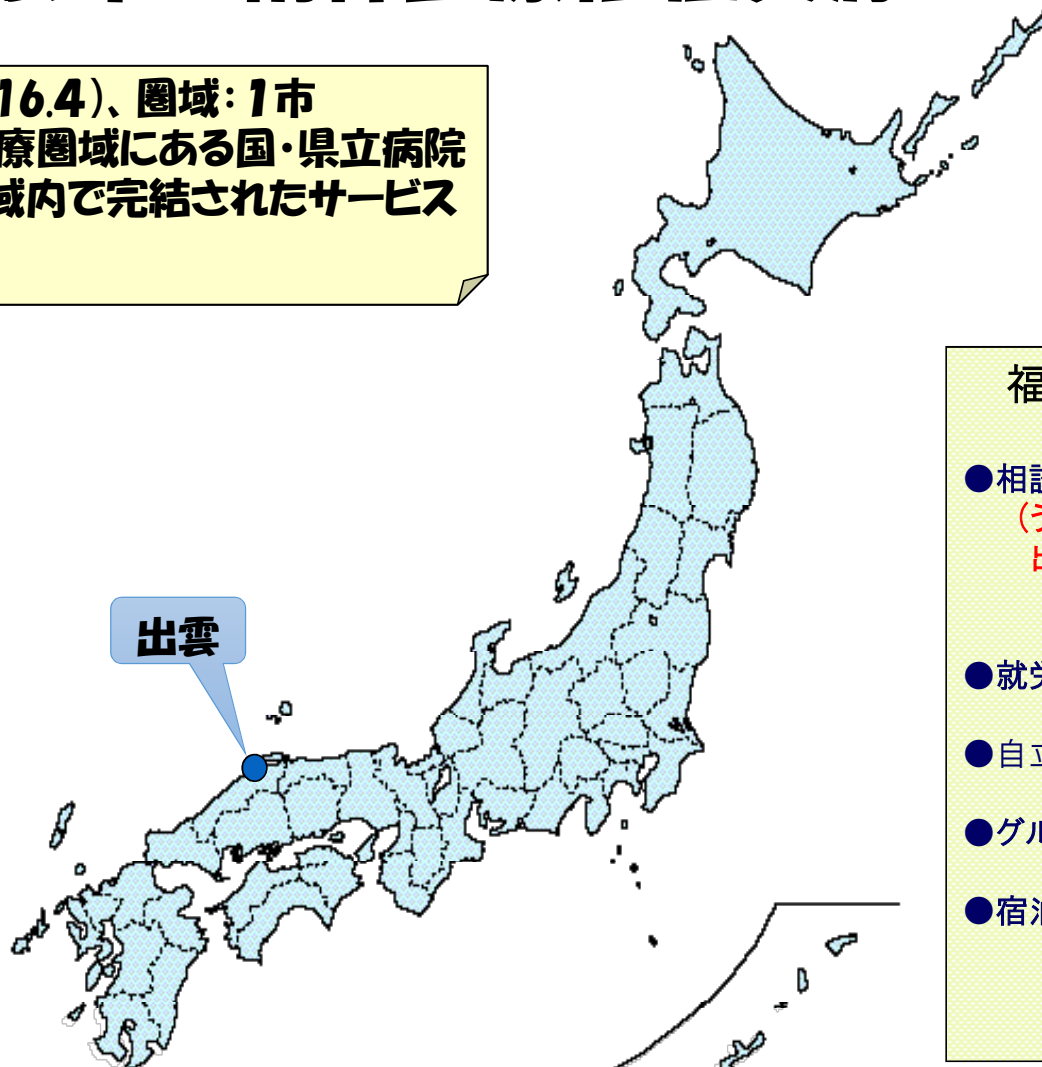
(C) Mapion

島根県出雲市の精神医療福祉資源

人口: 約17万人(2016.4)、圏域: 1市
・出雲保健所2次医療圏域にある国・県立病院を中心に、ほぼ圏域内で完結されたサービスがなされている。

医療機関概況

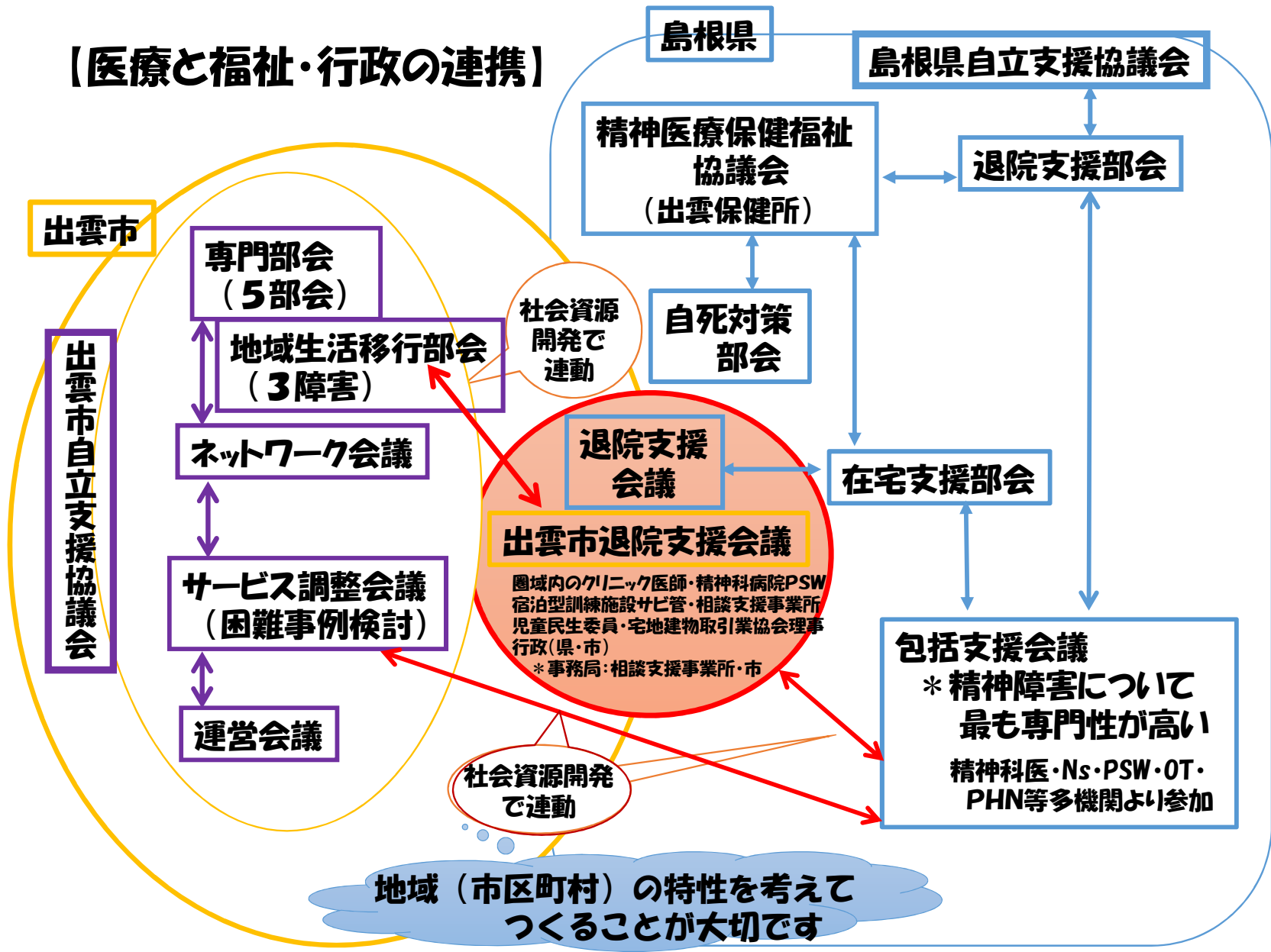
- 総合病院精神科 (ベッド数)
 - 島大医学部附属病院 30
 - 県立中央病院 40
 - 出雲市立総合医療センター 0
 - 精神科病院
 - 海星病院 166
 - 県立こころの医療センター 242
 - クリニック
 - エスポアル出雲クリニック
 - さつきクリニック
 - さとうクリニック
 - あさひクリニック
 - 竹内クリニック
 - 松崎クリニック
- (精神科ベッド数 計 478床)
- 訪問看護ステーション 16カ所
うち1カ所は精神障がいの特化



福祉施設概況

- 相談支援事業所 27
(うち精神障害者 3)
出雲市に登録している
相談支援専門員 70人
- 就労支援事業所 15+α
- 自立訓練施設 3+α
- グループホーム 8+α
- 宿泊型生活訓練施設 1

【医療と福祉・行政の連携】



出雲圏域での取り組み

児童民生委員対象
介護支援専門員と相談支援専門員対象
宅地建物取引業者対象 etc

- ・ 協議会⇒地域生活移行部会

(部会は年8回程度で課題抽出と研修企画研修は年3回程度、
主には地域定着をするための地域づくりに関すること)

- ・ 出雲市精神障がい者退院支援事業

(ネットワーク会議年3回・ワーキング会議毎月1回

出雲市入居債務保証事業
介護保険への移行システム etc

多機関多職種研修年1回)

- ・ 包括支援会議(保健所主催で月1回)

困難事例の検討及び介入

医療と福祉の連携パス作成

各病院での研修(地域移行支援に関することを病院ごとの特性を踏まえて)

圏域全体で地域移行・地域定着に 取り組むための工夫

- 保健所主催の精神医療保健福祉協議会（各機関の**長が参加**の会議）で、地域移行を進めることや生活保護受給者の退院支援事業をすることに対する共通理解を持つ
- 各機関の役割の明確化と顔の見える関係づくり
- 保健所主催の精神科救急に関する会議で地域定着支援に関する役割の明確化（消防署や警察とも連携強化）
- 生活保護担当課や救護施設との連携強化
- 精神科医懇話会で地域移行支援について情報提供

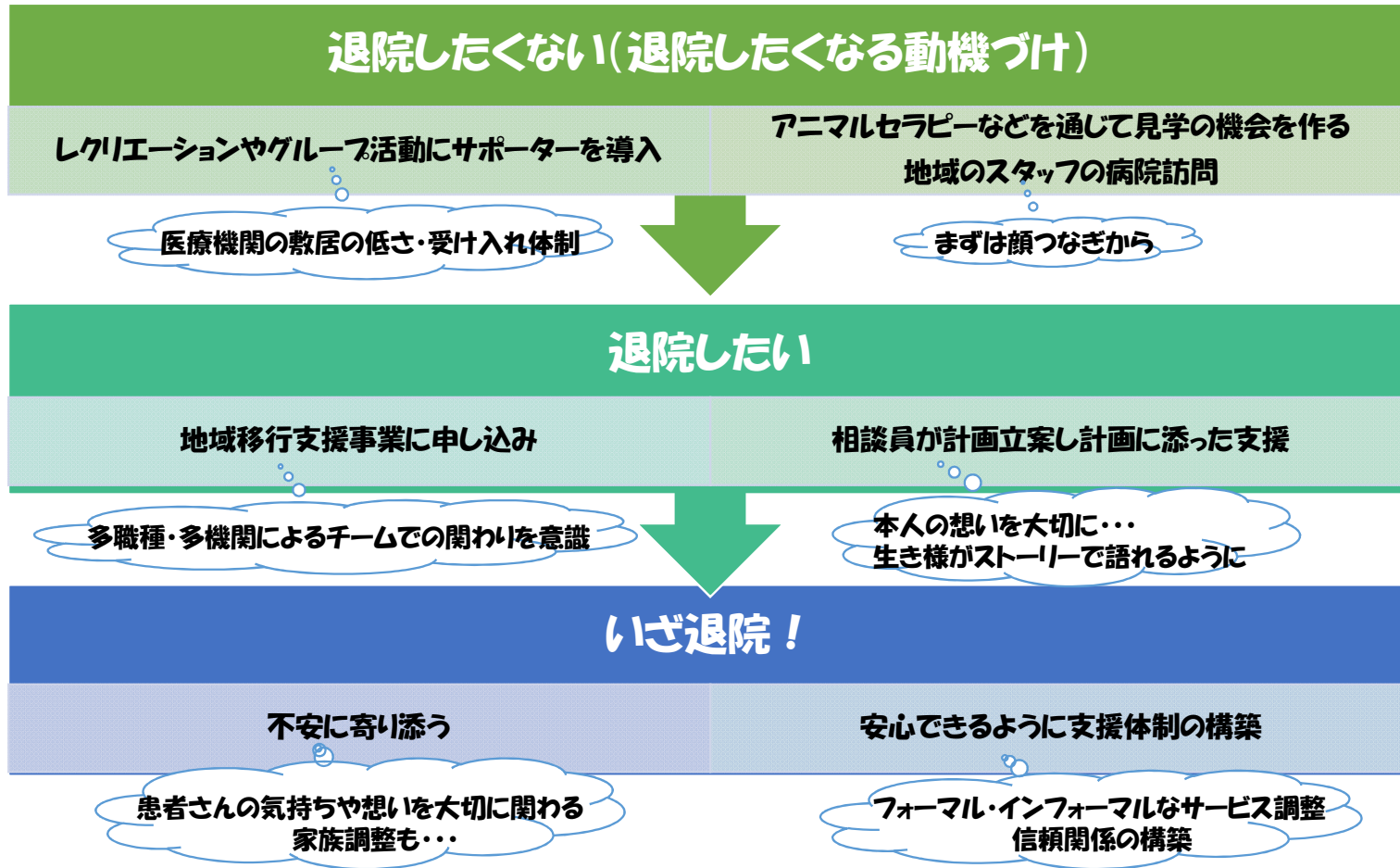
研修の工夫 (資料の一部を参考資料として添付しています)

- **病院へは出前研修**
- **各病院の特性をとらえて各病院の希望に添う内容で研修**
- **圏域全体での研修は演習も含めて自分たちも考える時間を作る**
- **研修の場も人材育成の場に活用する**

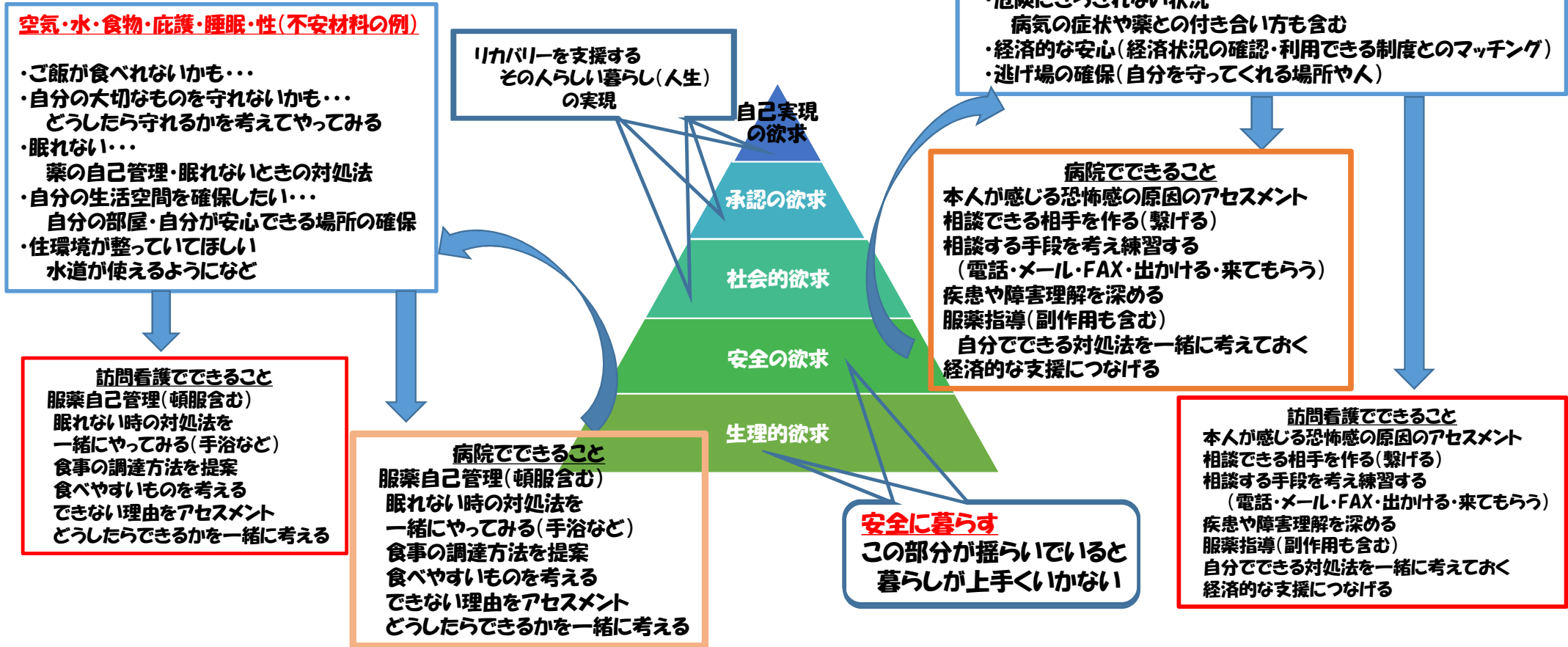
地域移行支援実践の工夫

- **一緒にやってみる**
(事業所内で後輩を育成・
医療機関に相談支援専門員が入って視点の違いを示す)
- **アセスメントツールの共有 (視点の違いの明確化とすり合わせ)**
⇒ **協働作業の中でチームとして機能し始める**

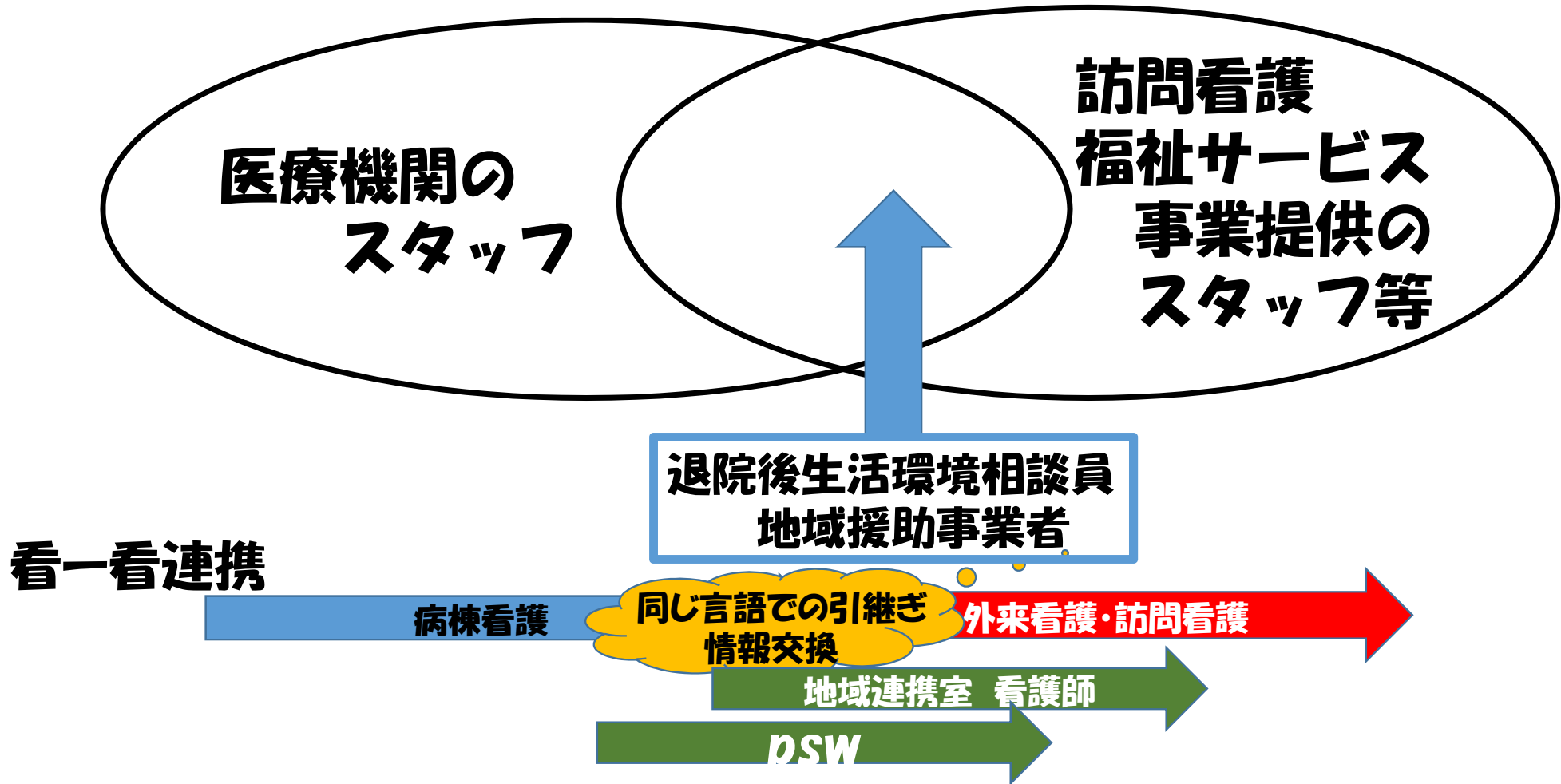
退院支援の流れとそれぞれの役割

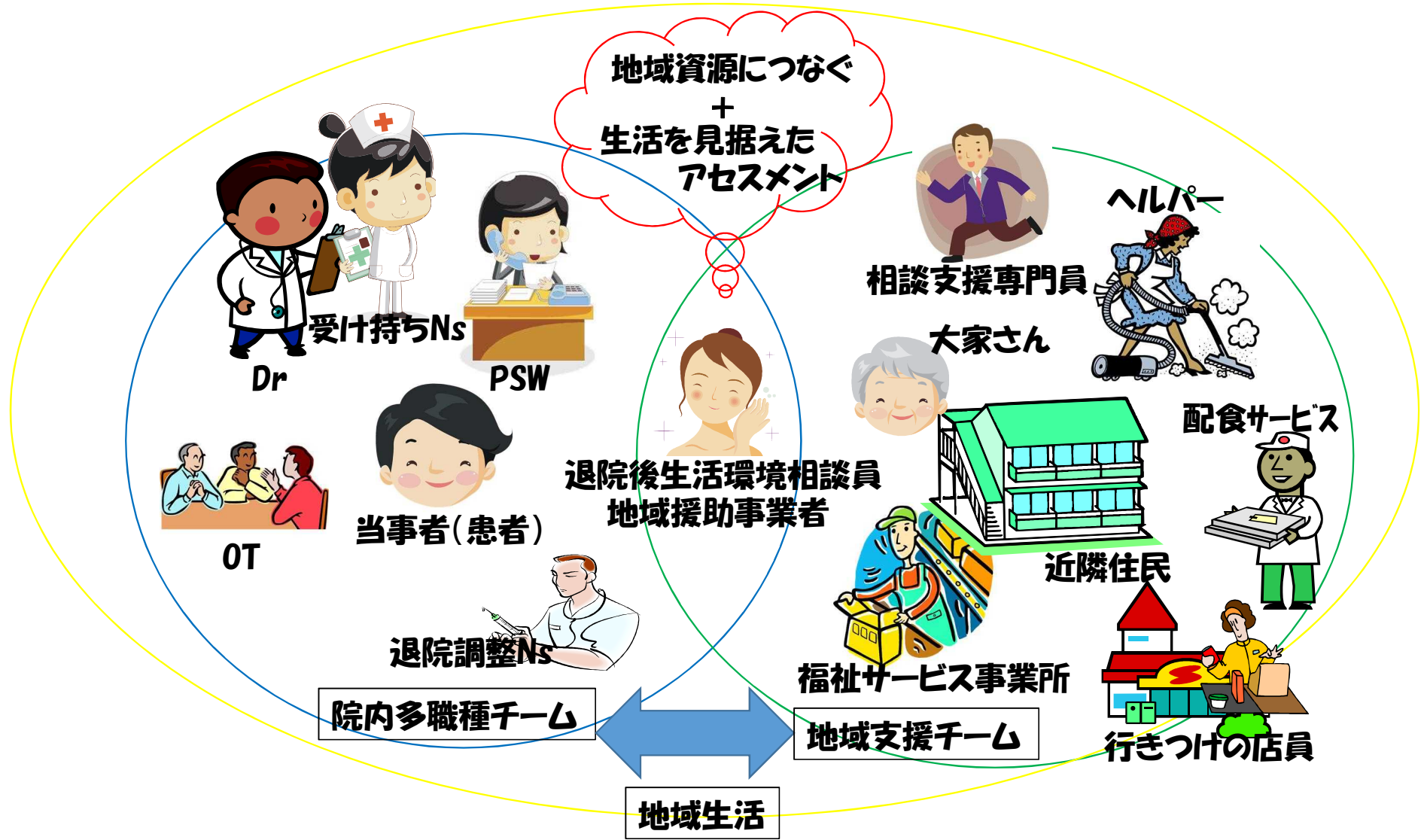


マズローの欲求5段階にそって見立てる



医療と地域の連携





精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた今後の課題

- 地域住民との協働について検討
コミュニティセンターの利用や地域での居場所づくり・現資源の活用
- 在宅医療の充実
重症な精神障がい者の地域生活支援
- 地域定着支援の充実
夜間の支援体制をどう作るか？マンパワーや財源の問題
- 意識改革・・・「もう退院できる人はいません」と言わない
「もう地域では無理です」と言わない
「地域によって差があるから仕方ない」と言わない・・・
⇒人材育成・次世代と次々世代の育成(官民ともに)
人が変わっても揺るがないシステムづくり

ご清聴ありがとうございました

